



基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 20

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物収集運搬許可を得て、死亡した家畜の適切な処理を行い、環境汚染・疫病の拡大の防止に貢献している			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所内に消費電力を表示する機器を設置し、電力使用量を把握、節電に取り組んでいる ・本社のリフォームと同時に照明をLEDに変更し、消費電力の削減を行っている							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・新規に導入するトラックを二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の対象となる物を選択している ・公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団よりグリーン経営の認証を受けている		2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・マイバッグの利用を奨励し、レジ袋での商品引き渡しを削減している ・紙製のテイクアウト容器を導入し、プラスチックの削減に取り組んでいる						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内報や給与明細、会議資料を電子化し、ペーパーレスを促進している ・裏紙を利用している									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水量測定器を設置し、地下水の採取量を管理している ・公益財団法人阿蘇グリーンストックに賛助している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙利用を促進している ・社屋リフォームの際に、木材を主体として使用した										9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・フードバンク活動を行っている		1	2				6.4							12.3		14	15	17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・公益財団法人阿蘇グリーンストックに賛助している													11.6 11.7		13.1 13.3		15	17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・本社屋リフォームに伴ったLED化をはじめとして、順次照明をLED化している								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				11.5		13.1 13.3		
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・公益財団法人阿蘇グリーンストックに賛助している							6			9.4				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・公益財団法人阿蘇グリーンストックに賛助している							6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・マイバッグの利用を奨励し、レジ袋での商品引き渡しを削減している ・紙製のテイクアウト容器を導入し、プラスチックの削減に取り組んでいる														12.2 12.5		14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・導入するトラックを一般財団法人環境優良車普及機構の基準を満たした、燃費向上・CO2排出量削減効果の見込めるトラックにしている											9.4			11.2		13.1 13.3		
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				11.6 11.a	12.8	13			17.2

